

北海道豪雪過疎地域における
広域的除排雪ボランティアシステム構築
に関する実践的研究
—広域的除排雪ボランティアがもたらす受入地域への影響—

○小西信義（北海道大学大学院文学研究科）
中前千佳、原文宏（一般社団法人北海道開発技術センター）
nobnobnob1026@let.hokudai.ac.jp

はじめに	ツアー概要	調査結果	事例	考察と課題
<h2>■ 研究の目的</h2> <p>広域的な除排雪ボランティア活動への参加が、援助者および被援助者において、どのような影響を与えるかを明らかにし、今後の持続可能なボランティアシステムの構築に資する。</p> <h2>■ 持続可能なボランティアとは？</h2> <ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア受入側への影響に焦点を当てる。 ボランティアを受け入れた地域は、「広域的な除排雪ボランティア」にどのようなことを期待し、受け入れたことによりどのような影響がもたらされたか？ <small>cf. 援助コストを極小化し、内的報酬を得る援助者（小西，2014）</small> ● 観察や聞き取り調査によって描かれる地域ごとの違い。 受入主体の除排雪ボランティアへの期待やニーズ、ボランティア当日および事後の様子の記事による探索的な整理を試みる。 <p>ボランティアの受け入れによる地域への影響を記述することで、今後の実践上の課題整理と受入地域に対する視点の提供。</p>				

はじめに ツアー概要 調査結果 事例 考察と課題

「雪はねボランティアツアー」の概要①

札幌近郊でボランティアツアーの参加者を募り、5地域、計9回の日帰り雪はねツアーを実施。地域ごとにテーマを設定。全ツアー参加者は延べ320名程度。

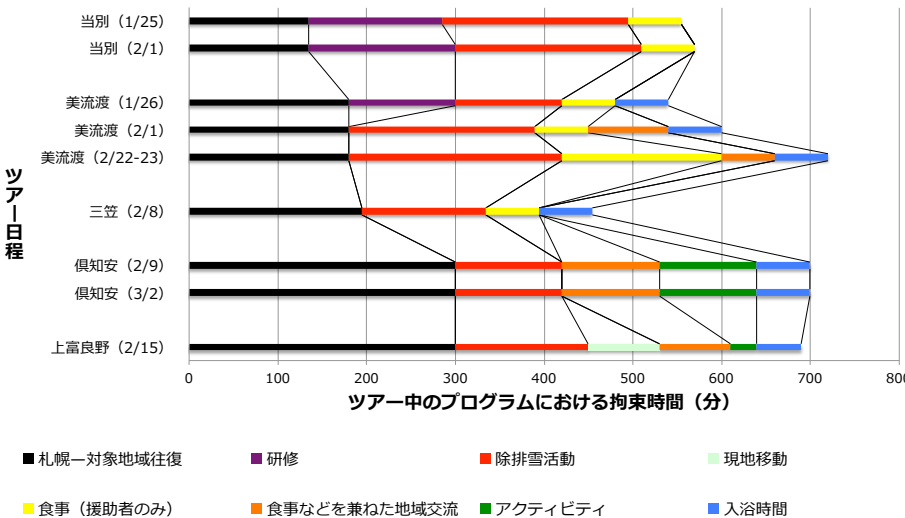
- ◆当別町雪はねツアー～雪はねで企業研修～
【日時】 平成25年1月25日（土）、2月1日（土）
【場所】 当別町茂平沢みどり野地区 【参加費】 6,000円
- ◆岩見沢市美流渡雪はねツアー～がっつり雪はね～
【日時】 平成25年1月26日（日）、2月2日（土）22-23日（土日）
【場所】 岩見沢市美流渡地区 【参加費】 1,500円～7,500円
- ◆三笠市弥生雪はねツアー～企業と一緒に雪はね～
【日時】 平成25年2月8日（土）
【場所】 三笠市幾春別・唐松・美和地区 【参加費】 1,000円
- ◆倶知安雪はねツアー～地域と一緒に雪はね～
【日時】 平成25年2月9日（日）、3月2日（日）
【場所】 倶知安町琴和・六郷地区 【参加費】 1,500円
- ◆上富良野雪はねツアー～雪はね&地域交流～
【日時】 平成25年2月15日（土）
【場所】 上富良野町あすなろ地区 【参加費】 3,000円



図1. 雪はねボランティアツアー募集チラシ

はじめに ツアー概要 調査結果 事例 考察と課題

「雪はねボランティアツアー」の概要②



ツアー中のプログラムにおける拘束時間（分）

図2. 地域・日程ごとのプログラム上の時間配分

はじめに	ツアー概要	調査結果	事例	考察と課題	
調査結果①～受入体制の違い～					
表1. 地域ごとの受入主体とその除排雪体制					
地域内ボランティア実施主体	主な地域内ボランティア活動者	広域的ボランティア受入経験	ボランティア人材	地域内除排雪体制の類型	
当別町	社協	町内外の有志	多い	潤沢	社協主導型(円熟期)
岩見沢市(美流渡)	社協・町内会	町内会の有志	なし	枯渇	町内会主導型(縮小期)
三笠市	社協	市内の有志	少ない	枯渇ぎみ	社協主導型(成長期)
倶知安町(琴和)	町役場・町内会	シルバー人材派遣登録者・町内会の有志	なし	潤沢	町内会主導型(自給期)
上富良野町	町役場・社協	町内の有志	少ない	充足	町役場・社協主導型(成長期)
町内会主導型の特記事項					
◎岩見沢市(美流渡)					
⇒行政の除排雪支援制度を町内ごとでカスタマイズ(例;補助金+謝金)					
◎倶知安町(琴和)					
⇒「ちょぼろ除雪隊」の組織化・元道職員の町内会長がキーマン。					

はじめに	ツアー概要	調査結果	事例	考察と課題			
調査結果②～受入に関わる役割のシェア(2013/14)～							
表2. 除排雪作業に関わる実施主体・受入主体・受入地域の役割分担(●主、○補)							
地域内除排雪体制の類型	主なステークホルダー	対象世帯の選定と交渉	除排雪具の貸出し	作業指示・安全管理	食事の準備	除雪作業者の派遣	施設手配
当別 社協主導型 (円熟期)	実施主体	研究会	●	○			
	受入主体	社協・町役場	●	○	●	●	●
	受入地域	町内会					○
岩見沢 町内会主導型 (縮小期)	実施主体	研究会	●	○	●		
	受入主体	町内会	●	○	●	●	●
	受入地域	町内会					
三笠 社協主導型 (成長期)	実施主体	研究会	●	○			●
	受入主体	社協	●	○	●	●	●
	受入地域	町内会					
倶知安 町内会主導型 (自給期)	実施主体	研究会	●				
	受入主体	町役場・振興局		○			○
	受入地域	町内会	●		●	●	●
上富良野 町役場・社協 主導型 (成長期)	実施主体	研究会	●			●	●
	受入主体	町役場	●	○	●		
	受入地域	町内会	○		○	●	

はじめに ツアー概要 調査結果 **事例** 考察と課題

■ 倶知安の事例

①「雪はねボランティアツアー2013」を契機に、町長が目醒める。
「町長が、町政報告会で『各町内会でも、琴和町内会のように地域内共助を推進してほしい』と熱弁してた」（倶知安町職員談）

②六郷地区でも、地域内共助機構が創設。

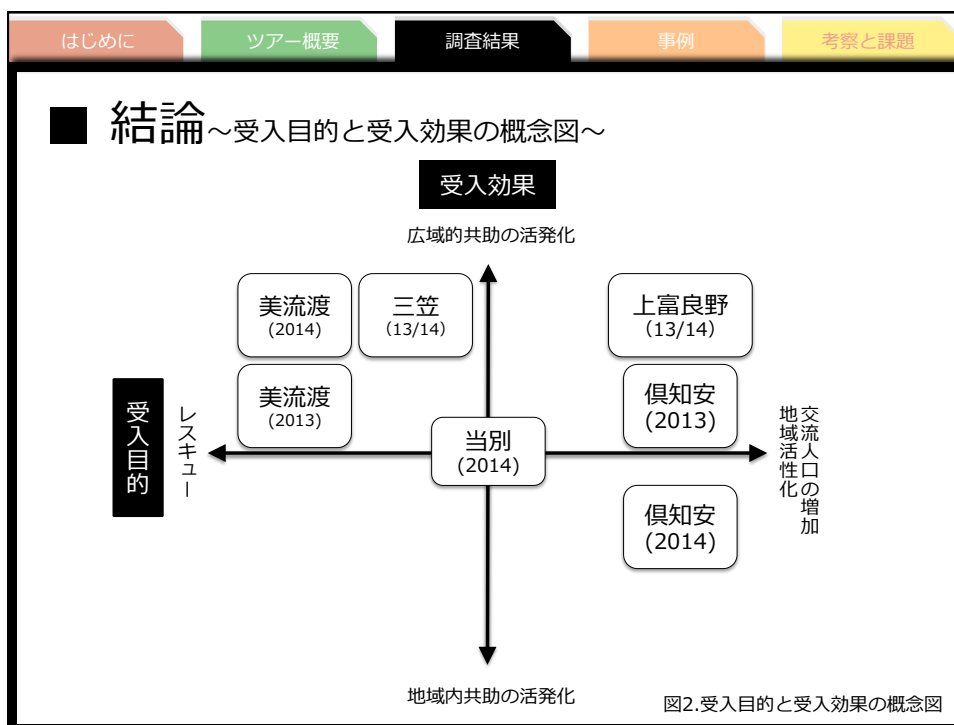
ちよボラ隊の人が安全に、無理のない範囲で作業をしていくことが何より重要です。事前の連絡体制や当日の動き方など課題はたくさんありますが、阿部会長のお話にあるとおり、どういう形か六郷親交会にとって最も良いのかを、試行錯誤を繰り返しながら探していくことが必要です。六郷ちよボラ隊の活動は始まったばかりです。除雪ボランティアの取り組みについて、他にも実施が検討されている町内会があります。琴和町内会から始まった助け合いの輪は、六郷親交会へと広がりに、もっと大きな輪になろうとしています。町でもボランティア活動に取り組む町内会に対し、ボランティア活動保険の保険料を補助するなど、助け合いの輪を広げるための支援を進めていきます。

『広報くっちゃん2月号』

六郷ちよボラ隊結成！

■ 美流渡の事例

- 事例1
「今年は、炊き出しでも用意しようか！」（11/27岩見沢市美流渡町内会役員会にて）
⇒事例2の対応で実現できず。
- 事例2
現地お巡りさんの安全指導により、参加役員（安全管理の役目）の増員・除排雪活動範囲の制限・ヘルメットの装備の義務化を設ける緊急役員会（1/26岩見沢市美流渡）
⇒合議の形で、受入体制を強化していこうとする動き。
- 事例3
「あの家の雪かきはしたらだめだ」（2/23岩見沢市美流渡、T町内会役員より）
⇒町内会ごとで違う、対象世帯の選定条件とその合意形成の未成熟さ。
- 事例4
「受け入れるかも含め、今後話し合っていないといけない。正直、（屋根の雪下ろしもしないので）遊びに来ているようだ」（1/29岩見沢市美流渡、連合町内会副会長）
⇒地域内のコスト感と実際の支援効果が不均衡になっているという認識。
- 事例5
「来年まで、話し合っ解決しておく」（2/23岩見沢市美流渡、男性より）

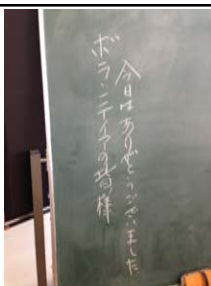


はじめに ツアー概要 調査結果 事例 考察と課題

考察として ～広域的除排雪ボランティアがもたらす地域への影響～

- ①「よそ者」の介入が契機となり、地域内共助を推進させることもある。
- ②受け入れることによって割かれるコスト（対象世帯の選定や参加役員の確保などの調整）を割高に思うこともある。（＝「受入疲れ」）
※「社協主導型」では、これらのコストを一手に担う。
- ③また、「受入疲れ」の本質的な原因は、「よそ者」の出現により、地域内のいざこざを喚起してしまうことにありそうだ。
＝広域的な雪処理問題への取り組みが、地域社会集団の潜在的問題をあぶり出してしまう。
※「社協主導型」では、「あっちが立てば、こっちが立たず」が起こりにくい。
※町内会主導型を社協主導型にするとか、受入コストを誰かがシェアするなどは、一時的な処方箋にし過ぎない。
- ④②～③は、支援者・団体－被支援者・地域の「非対称性」の問題として提起される。
- ⑤一方、それを町内会で話し合うことで乗り越えようとする意思もある。
※「社協主導型」では、ボトムアップの機会は生じなかったかもしれない。
- ⑥今後、受入コストを低減するような取り組みが、運営サイドにも求められる（役割のシェアの最適化・屋根雪下ろしの実施など）一方、「受援力」（「よそ者」のボランティアや支援を受け入れる際の地域の力）の向上といった防災上の利点を内包していることが示唆される。

「非対称性」に現場がどのように対応していくかを観察していきたい。



ご清聴ありがとうございました。

「雪はねボランティアツアー」および本研究は、
(財)北海道開発協会平成25年度研究助成
国土交通省「平成25年度雪処理の担い手の確保・育成のための克雪体制支援調査」
農林水産省「都市農村共生・対流総合対策交付金事業」
の助成の下実施された。厚く感謝申し上げます。

